

YAMAZAKIプラン2020

Next Stage



2020 年 6 月 19 日
大学改革推進委員会

YAMAZAKIプラン 2020 Next Stage

基本的な考え方

金沢大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けの下、グローバル社会をリードする人材の育成と、世界に通用する研究拠点の形成を目標に定め、2014年4月に策定した「YAMAZAKIプラン2014」を改革のエンジンとしつつ、以降、2度にわたって発展的にプランの見直しを行い、自主的かつ自律的な大学改革を加速させてきた。

金沢大学の改革は、学長の強いリーダーシップによるガバナンス強化と戦略的な大学マネジメントを基盤に、教職員が一丸となり取り組むことを前提としたものである。これまでに、年俸制やリサーチプロフェッサー制度、教員評価制度等の先導的な人事給与制度の構築・運用、新学術創成研究機構や国際基幹教育院、新学術創成研究科等の新たな教育研究組織の創設、平成29年度文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」の採択によるナノ生命科学研究所の創設等、アクションプランに掲げた改革構想を着実に実行し、目に見える形で全国的にも秀でた成果を創出するに至っている。

一方、国立大学を取り巻く社会の動向に目を向けると、中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」や文部科学省「国立大学改革方針」で提言されているように、我が国の国際競争力の強化や地方創生に向けて国立大学の責務が大きくなっている。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、第4次産業革命やSociety5.0の実現に向けた社会システムの変革が加速することが想定され、即応することが求められる。

金沢大学は、2020年当初に行われた文部科学省との徹底対話において、持続的な発展に向け、世界的な現状・課題を再認識した上で未来社会を予測し、環日本海域に立地する世界卓越型大学を目指す国立大学として、「多様な価値観を持つ多様な人材が集まり、新たな価値が創造される場」となることを目標として提示し、中長期的な視点から金沢大学のあるべき姿を提言している。

この度とりまとめた「YAMAZAKIプラン2020 Next Stage」においては、大学改革の柱となる従来からの6つの重点戦略の下、中長期的な視点から社会システムの大変革を視野に、戦略的な教育・研究の強化と規模の拡大、社会の多様なセクターとの有機的連携による学問の進展とイノベーションの創出等、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出すための施策を掲げている。

第4期中期目標期間を目前に控え、この「YAMAZAKIプラン2020 Next Stage」は、次代に向けた架け橋となるものである。

一人一人の教職員が理想を思い描き、各施策に自主的・自律的に取り組んでいただきたい。

YAMAZAKIプラン 2020 Next Stage

■戦略1

研究の先鋭化と新たな強みとなる新領域・融合分野の創出による世界的研究拠点の形成

Vision I 先進的・独創的研究の推進と基礎研究分野の堅持

Vision II 研究力強化に向けた環境整備

■戦略2

グローバル社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成

Vision III 大学院教育の高度化と国際化

Vision IV 学士課程教育改革とイノベーション人材の育成

Vision V 新たな価値を創造する人材の育成に向けた高大接続改革と入試制度改革

Vision VI 徹底した学生支援

■戦略3

国際的な連携ネットワークの形成と頭脳循環の推進

Vision VII 国際協働ネットワークによる教育・研究活動における高度なモビリティの推進

■戦略4

世界と地域との環流による社会貢献・社会実装

Vision VIII 大学をハブとしたオープンイノベーションの推進

■戦略5

積極的なガバナンス改革による戦略的マネジメントの推進

Vision IX 機能強化を推進する大学運営と戦略的な財政運営

Vision X 機能強化に向けた戦略的な教育研究環境の整備

■戦略6

高度臨床研究の展開と中核的な医療拠点としての機能強化に向けた附属病院改革の推進

Vision XI 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材の育成

Vision XII 地域中核病院としての機能強化

■戦略 1

研究の先鋭化と新たな強みとなる新領域・融合分野の創出による世界的研究拠点の形成

Vision I 先進的・独創的研究の推進と基礎研究分野の堅持

Subject 1 国際的な研究拠点の形成

[Action] 世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) 推進研究拠点 (NanoLSI) や共同利用・共同研究拠点、研究所、新学術創成研究機構、研究域附属研究センター等における組織的な研究活動を先鋭化し、国際的な研究拠点を形成する。

Subject 2 研究大学としての研究水準の向上

[Action] 研究大学としての機能強化に向け、研究グループ・個人をベースとした研究力強化方策を組織的、戦略的に推進する。

Vision II 研究力強化に向けた環境整備

Subject 1 学術研究の進展に向けた支援体制の強化・研究環境の整備

[Action] 世界に誇る研究拠点の形成に向け、URA を中心とした研究開発マネジメント体制の強化等により研究環境を充実する。

■戦略2

グローバル社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」人材の育成

Vision III 大学院教育の高度化と国際化

Subject 1 大学院課程の組織改革と入学定員規模の拡大

[Action] 社会のニーズ等を踏まえ、金沢大学の特色を活かした大学院課程における組織改革を実施するとともに、定員を大幅に拡大する。

Subject 2 大学院教育の高度化・国際化を推進する教育プログラム改革

[Action] アカデミアや産業界をリードする高度専門人材の養成に向け、先進的・学際的な研究実績の活用、海外大学との連携等により、大学院教育の高度化・国際化を推進する教育プログラムの開発・改善に取り組む。

Subject3 社会ニーズを踏まえた専門職学位課程の教育力強化

[Action] 社会のニーズ等を踏まえ、金沢大学の特色を活かした専門職大学院における教育力強化に向けた改革を実施する。

Vision IV 学士課程教育改革とイノベーション人材の育成

Subject 1 社会変革・科学技術の進展に応じた教育組織改革

[Action] 社会のニーズ等を踏まえ、金沢大学の強み・特色を活かした学士課程における教育組織の改革に取り組む。

Subject 2 高度で良質な人材育成のための教育プログラム改革

[Action] ポストコロナを見据え、教育の質的転換を図るとともに、学修成果の可視化を推進する。

Subject 3 基幹教育の定着及び深化

[Action] KUGS (Kanazawa University “Global” Standard) の理念に基づき、GS 科目等の基幹教育の深化を図る。

Vision V

新たな価値を創造する人材の育成に向けた高大接続改革と入試制度改革

Subject 1

先導的な高大接続プログラムの構築・展開と入試制度の見直し

- [Action] グローバルサイエンスキャンパス事業、WWL コンソーシアム構築支援事業等により、高大接続の観点に立った、高校生に対する教育プログラムを提供する。
- また、学域・学類の人材養成目的や特色に応じた入試制度改革を行う。

Vision VI

徹底した学生支援

Subject 1

学生支援の抜本的強化

- [Action] 学生支援体制を強化するとともに、学生の財政支援を充実する。また、宿舍の整備、図書館における学修支援機能を強化する。

■戦略3

国際的な連携ネットワークの形成と頭脳循環の推進

Vision VII

国際協働ネットワークによる教育・研究活動における高度なモビリティの推進

Subject 1

徹底的な国際化とそれを基盤とする交流ネットワークの形成

[Action] 世界トップレベル大学等との組織対組織の連携基盤を強化し、国際競争力のある交流ネットワークを形成する。

Subject 2

若手研究者及び学生の海外双方向交流の拡大

[Action] 世界トップレベル大学等との交流ネットワークを活用し、若手研究者や留学生・外国人学生を含めた学生の海外大学との双方向交流を拡大する。



■戦略 4

世界と地域との環流による社会貢献・社会実装

Vision VIII 大学をハブとしたオープンイノベーションの推進

Subject 1 社会実装までを見据えた多様なセクターと協働した研究展開

[Action] 金沢大学が有するリソースを産業、地域振興、行政、人材育成、医療等、社会のあらゆる領域に還元し、多様なセクターとの実効的な社会共創を一体的に推進する。

Subject 2 社会協働による社会を支える人材育成

[Action] 社会と協働し、多様な社会ニーズに対応する人材育成事業を開発・実施する。

Subject 3 先端科学・社会共創推進機構を核とした多様なセクターとの連携強化

[Action] 地方創生・新産業創出に向けて、企業・自治体・教育研究機関等多様なセクターとの連携強化に取り組む。

■戦略 5

積極的なガバナンス改革による戦略的なマネジメントの推進

Vision IX 機能強化を推進する大学運営と戦略的な財政運営

Subject 1 大学の戦略に即した人員配置・人材育成

[Action] 金沢大学の強みや特色をいかし、教育研究機能を最大限に発揮するため、ガバナンス体制を更に強化する。

Subject 2 戦略的な業務運営

[Action] 大学の果たすべきミッションを踏まえ、教育・研究・社会貢献機能を最大化するための戦略的な業務運営を行う。

Subject 3 リスクアセスメント

[Action] 情報セキュリティの強化、法令遵守の徹底等により大学運営におけるリスクを未然に回避する。

Subject 4 戦略的な財政運営

[Action] 中長期的な視点から財政計画に基づき支出の見直しを行うとともに、効果的な資金配分や外部からの投資資金の獲得を拡大し財政基盤を強化する。

Vision X 機能強化に向けた戦略的な教育研究環境の整備

Subject 1 教育研究環境の整備と新キャンパス構想の策定

[Action] 教育研究組織の態様に応じた施設マネジメントを行うとともに、将来を見据えた新キャンパス構想を策定する。

■戦略 6

高度臨床研究の展開と中核的な医療拠点としての機能強化に向けた附属病院改革の推進

Vision XI 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材の育成

Subject 1 基礎研究・臨床研究の推進

[Action] 基礎研究、臨床研究に係る組織的な支援を行い、先進医療・医師主導治験を推進する。

Subject 2 優秀な医療人材の育成

[Action] 専門医に対し、初期臨床研修から専門医研修までを俯瞰した指導を行い、優秀な専門医を育成するとともに、医療従事者に対し、専門教育、安全教育及びリカレント教育を行い、優秀な医療従事者を育成する。

Vision XII 地域中核病院としての機能強化

Subject 1 第7次医療計画を踏まえた附属病院の将来構想策定

[Action] 将来のあるべき医療提供体制の実現に向け、ガバナンス、人員、経営、診療機能等の様々な面から金沢大学附属病院の目指すべきビジョンを策定する。

Subject 2 診療の質向上による地域医療への貢献

[Action] 地域の中核病院として高度医療を提供するため、医療安全管理体制や関連病院との連携体制の更なる強化を推進する。

